

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

アンケート期間: 令和2年 1月 20日～令和2年 1月 31日

公表: 令和2年2月18日

事業所名 放課後デイサービスまごころレフト

保護者等数(児童数) 1 回収数1 割合 100%

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				衝立を撤去し活動スペースを広くした
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1				児童指導員を加配している
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1				絵や写真等で情報伝達等を分かりやすくしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	1				課題部屋やおやつ部屋等は区別して衛生には配慮している
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1				保護者のご意見を聞きながら作成している
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1				項目内容はガイドラインで示された内容に変更致しました
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1				計画に沿って支援している。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1				週単位で活動テーマを変更している
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1			その機会がないので今後の課題である
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				契約時に丁寧に説明している。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1				契約時や半年に一度の計画更新時に説明している
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1				保護者の意見を伺い相談にのっている
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1				連絡帳やメール等で共通理解できるようにしている
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				随時情報交換の機会を大切にしている
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1			保護者会への参加を呼びかけている
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1				常に相談の申し入れがあればすぐに対応している
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1				連絡帳・会報・デイ日より等で情報伝達と収集をしている。法人のまつりやイベントに招待している
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1				最新情報を発信している。月1回の会報、デイ日より、イベントチラシ等を配布している
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1				契約時には個人情報の取り扱いについて説明している	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1				随時変更更新をめざしている
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1				地震・火災・洪水に関する訓練を毎月初めに実施している
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	1				そうであってほしい
	23 事業所の支援に満足しているか	1				満足いただけるように努力を続けたい
		91%	9%	0%	0%	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における

討議年月日: 令和2年2月13日

公表: 令和2年 2月 18日

事業所名 放課後デイサービスまごころレフト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	7	2	基準はクリアしているが狭い場合には活動内容に応じてパーティションで部屋を区切って活動している。	やむを得ない場合でも定員超過は1人にとどめている。屋外活動の活用も検討している。
	2 職員の配置数は適切である	5	4	適正配置に努力している。	配置が少ない日もあるが、基準はクリアしている。利用者と職員のバランスも調整している。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	衝撃鑑賞材等を採用してけがをしない配慮もしている	出来る限りのバリアフリーを確保してる。配慮が必要な時に対応している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	毎日デイが終わった時、清掃をして清潔に保っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	事務局会議とスタッフ全員のデイ会議を月1回開催している	介護等でヒヤリハット情報を共有し再発防止を検討している
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	評価アンケートの回収率の向上を図っている	保護者の評価は真摯に受け止め改善すべきは改善したい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	当事業者ホームページで公開している。	毎年評価が向上するように心がけていて、下がった評価については改善したい。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		費用の件もあり外部評価は実施していない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	月1回の定例勉強会への参加を呼び掛けている。個別研修の報告内容は会議にて共有されている	会議や定例会で研修報告を行っている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	児童の個性を伸ばそうと努力している	保護者のニーズや課題を客観的に分析する時、スタッフの意見も参考にしながら計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	アセスメントツールは標準化されてはいない	繰り返し活動して統計的に判断。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	2	運営規定をガイドラインに沿って表示している	職員がその児童の支援目標が何か分かるように連絡帳の見出しに支援目標を表示した
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	連絡帳にも支援目標を表示している	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	事務局会議で行っている。	職員全員が参画できるように配慮したい
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	四季折々の季節を感じさせる活動をテーマにしている	活動目的を明確にしていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	ゲームなどのように活動内容によっては集団活動を重視することがある。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	担当が主となりミーティングを行っている	ミーティングを行っているが、送迎で全員はそろわない場合がある
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	気づきを大切に共有している	送迎終了後ミーティングを行って問題点等を共有している
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	気づきがあればその場でメモをお願いして記録もれがないように心がけている	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		モニタリングがある時期に集中しないように年間で分散している
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	担当者会議がデイ中に開催されるので管理者が出席している。	その際には記録の把握と共に他のスタッフとの情報の補足説明を受けている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1		連携していない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	4	受け入れていない	受け入れ体制が出来ないので医療的ケアが必要な子どもは受け入れることは考えていない、
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	5	受け入れていない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	お迎えの時に保育士さんから聞いている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	お迎えの時に聞いている	担当者会議の範囲であり不十分だと思っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	最近は連携が少ない	可能な限り受講していて、個別に研修も受講してもらっている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4	交流はない。同じ学区の利用児童がいるので配慮している	当事者のいない状況なら交流を検討したい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	6		学区が同じ利用児童がいるので配慮している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	保護者から悩み相談を受け、相互理解している	機会ある毎にお子さんの状況を聞くようにしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	4	ペアレントトレーニング一部の保護者の支援にとどまっている		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	運営規定も説明して配布するようにしている	契約時を始め、いつでも聞かれれば説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	分かりやすく説明するようにしている	支援が始まる前に計画について同意を得ている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2	コミュニケーションが一番大事にしている	保護者との相談で悩みなどをお聞きして支援しています。つねにお役にたてればという心構えで支援している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	2	保護者同士の連携を支援するために交流会の企画等をしている	保護者会を開催し話し合いをしている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	連絡帳を双方向にしてより連携を図れるようにした。	相談の申し入れに対しては最優先で対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		月1回の会報、デイ日より、イベントチラシ配布等はホームページでも発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	契約時に書面で説明している	定例会や会議でも注意をよびかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	希望される保護者にはラインなどで情報伝達している。	送迎時が多いが機会をみては情報伝達に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	2	ふれあいまつり等で交流する機会を設けている。夏季にプール開放を行っている。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	避難訓練は月1回行われているが、その他マニュアル化を含めて周知徹底されていない。	不審者の侵入時の対応を検討したい。それぞれのマニュアルについては継続して整備している。特にインフルエンザ予防対策
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	垂直避難も含めて避難訓練は月1回開催。	地震・火災時を想定した避難訓練は毎月開催している。広域避難所へは行っていない
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	2	具合が悪い場合に保護者からお聞きしている	てんかん時には見守りしている、服薬や予防接種まで状況把握できていない
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	エピペンを預かりもしもの時のために備えている	食物アレルギーについてはあらかじめ保護者に確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	定例会でヒヤリハットの発表と再発防止を検討などしている。	毎月事故・ひやりハットは会議で発表しており、資料は蓄積して再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	3	定例会で外部研修受講者が発表している。	研修の機会があれば順番に受講している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	契約時に伝えている。	契約時には飛び出し防止として非常時の身体拘束について説明している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。